

# 生ごみの分け方・出し方

保存版

生ごみは資源です。資源循環と地球温暖化防止のため、生ごみの分別収集にご協力ください。

## 生ごみ専用袋に入れていいもの

### ●野菜・果物のくず・皮・しん

大根、たけのこ、たまねぎ、とうもろこし、枝豆、リンゴ、パイナップル、落花生、クルミなど

### ●食べ残し

米、味噌汁の具、パン、麺類、もち、腐敗した食べ物など



### ●その他

魚の頭・骨・内臓、カニ・エビ・うにの殻、貝殻、生肉、骨(牛、豚、鳥)、お茶・コーヒーかす、インスタントコーヒー、粉チーズ、粉ミルク、生米、梅干しの種、固めた天ぷら油、乾物(干しいたけ、昆布)、小麦粉、米ぬか、パン粉、片栗粉、卵の殻、冷凍食品、お菓子、ベビーフード、果物・野菜の種(メロン、スイカ、ぶどう、柿など)、ペットフードなど

※生ごみは微生物によって分解処理させます。出しても良いごみかの判断として、人の口に入れても問題のないものは大丈夫です。

## 入れてはいけないもの(具体例)



レジ袋の使用、混入はしないこと。  
割れた食器や刃物の混入にも注意し、  
缶・ビン・ペットボトルも入れないこと。

※落ち葉、花、剪定枝、髪の毛、ガム、大量の調味料、鉱物油、固めていない油、紙パックなどに吸わせた油なども入れないでください。

## 出し方(注意)

- 生ごみ専用袋の氏名欄に必ず氏名を記入して、もえるごみ収集日の朝8:30までにもえるごみ収集場所に出してください。生ごみ専用袋は、町内の取扱店で販売しています。(10枚入り100円)
- 収集場所には、もえるごみの袋と混在しないよう分けて出してください。
- 生ごみ専用袋の持ち手の部分をしばって出してください。
- 生ごみはしっかりと水切りをしてください。
- 生ごみは生ごみ専用袋にそのまま入れてください。  
レジ袋などを使って二重袋にしないでください。
- カニ、エビ、魚の骨などの突起物で袋が破れるおそれがあります。  
このようなごみを入れる場合には、他の生ごみで包むなどして、突起部分が袋に当たらないよう注意してください。
- 生ごみ専用袋は生分解性のごみ袋です。長時間の使用により、水漏れのおそれがあります。袋に余裕があっても、ごみの収集日に必ず出してください。
- 生ごみを数日分まとめて出す場合は、収集場所に出す直前に生ごみ専用袋に入れてください。



### 《生分解性ごみ袋とは》

生分解性ごみ袋は、主にとうもろこしや澱粉などを原料にしており、通常の使用状況では一般のビニール袋と同様に使用でき、使用後には自然や微生物の働きによって分解します。最終的には水と二酸化炭素にまで分解し土に還ります。

### ※お願い

生ごみ専用袋は、湿気のない暗所で保管し、製造から1年以内に使用してください。

### ■お問い合わせは・・・

益子町役場 生活環境部 町民暮らし課 環境係  
電話 0285-72-8101 ファックス 0285-72-6430  
メールアドレス choumin@town.mashiko.lg.jp

みんなで協力して、  
地球にやさしい益子町を  
目指そう！！

